

登録コード	T5A08300	開講年度	2026	県内大学開放授業				
授業科目	地域計画(16T以降)					担当教員	梅干野 成央	
英文授業名	Rural and Urban Design					副担当		
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・1時限		対象学生	建築学科3年生
講義室	工C3-300教室		授業形態	講義	遠隔授業科目		備考	
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】		
	2 5Tカリ, 2 3Tカリ							
	【22T～】専門分野における専門的学力が身についている。				⇔	都市計画とまちづくりについて体系的に理解できるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化、環境共生、防災減災							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	総体としての町や地域についての論点や考え方を修得するために、都市計画の歴史とその具体例、さらには、地域のなかで行なわれているまちづくりの具体例を学ぶ。							
(5)授業計画	第1回(10/01) ガイダンス：地域計画とはなにか 第2回(10/08) 都市の見方(1) 第3回(10/15) 都市の見方(2) 第4回(10/22) 都市の見方(3) 第5回(10/29) 都市の見方(4) 第6回(11/05) 都市の見方(5) 第7回(11/12) 日本の都市計画 第8回(11/19) 都市計画法とは 第9回(12/03) まちづくりの担い手 第10回(12/10) 歴史・文化とまちづくり 第11回(12/17) 景観とまちづくり 第12回(12/24) 人口減少時代のまちづくり 第13回(01/07) 防災・復興のまちづくり 第14回(01/14) 都市と建築をつなぐ手法 第15回(01/21) まとめ、授業アンケート 第16回 期末試験							
(6)成績評価の方法	科目の基本的内容【授業の達成目標】を理解したと認められるもの(毎回の小テスト(30点)と期末試験(70点)の合計が60点以上の成績)について単位を認定する。							
(7)成績評価の基準	(1)都市計画に関する基礎的知識を理解していれば「水準にある」。(2)まちづくりに関する基礎的知識を理解していれば「やや上にある」。(3)この基礎的知識の具体例を理解していれば「かなり上にある」。(4)以上をふまえ、地域計画を体系的に理解していれば「卓越している」。							
(8)事前事後学習の内容	前週の授業内容の理解を問う小テストを授業冒頭に行う。前週のレジュメやノートを使って、毎回復習してから授業に臨むこと。							
(9)履修上の注意	都市計画に関する政策やまちづくりの事例を積極的に現場で学ぶこと。							
(10)質問,相談への対応	質問・相談にはいつでも応じる。メールでも可(hoyano@shinshu-u.ac.jp)。							
(11)その他								
【教科書】	指定しない							
【参考書】	伊藤雅春他：都市計画とまちづくりがわかる本, 彰国社, 2011							